

特集：動物由来薬剤耐性菌の現状

A Symposium : The Present Status of Antibiotic-Resistant Bacteria Isolated from Animals

今回のシンポジウムにあたって

小久江栄一（動物用抗菌剤研究会 理事長）

今年は、「動物由来薬剤耐性菌の現状」をスローガンにして、5人の先生に動物や魚由来の耐性菌について、お話いただくことになりました。いずれの方々も、それぞれの分野で当代最も活動されている先生方です。

薬剤耐性菌については、従来からこの研究会で何度か取り上げられてきましたが、今回は畜産動物での耐性菌問題に加えて、ペット動物や魚類における耐性菌の問題をとりあげたところが、新機軸です。特にペット由来の耐性菌については、最近、欧米でも問題にされており、その使用実態の調査が手広く始まっています。また魚類での抗菌剤使用による耐性菌発現については、魚類養殖の先進国として、日本が世界に先駆けて取り組まな

ければいけない問題と思います。いずれも今後の我が研究会の背骨になるテーマでしょう。

新理事会が一本立ちして初めてのシンポジウムですが、これらは平成12年度の新規事業計画にある、「犬および猫における抗菌剤の使用実態調査」と、「抗菌剤耐性菌の公衆衛生に及ぼす影響の検討」に則って、理事会で協議・採択されたものです。この新規事業計画は、昨年度までの理事会が高橋貞前理事長のもとに原案を作り、新しい理事会に引き継がれたものであります。今後とも、前理事会の先生方の努力を無にしないように、抗菌剤使用について、科学的な建前ではない本音の討論ができる場を提供したいと思っています。